

## 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

|        |                |             |       |            |       |               |                  |              |    |
|--------|----------------|-------------|-------|------------|-------|---------------|------------------|--------------|----|
| 開閉会日時  | 令和5年1月18日（水曜日） |             |       | 開会         | 9:55  | 会議場所          | 別海町議会<br>委員会室2・3 |              |    |
|        |                |             |       | 閉会         | 11:07 |               |                  |              |    |
| 委員の出欠  | 1 番            | 宮越 正人       | 出席    | 5 番        | 外山 浩司 | 出席            | 9 番              | 今西 和雄        | 出席 |
|        | 11 番           | 瀧川 榮子       | 出席    | 15 番       | 戸田 憲悦 | 出席            |                  |              |    |
| 出席説明員  | 福祉部            | 福祉部長        |       | 福祉部次長      |       | 福祉部次長兼保健センター長 |                  | 福祉部次長兼福祉課長   |    |
|        |                | 今野 健一       | 出席    | 小湊 昌博      | 欠席    | 入倉 伸顕         | 出席               | 干場みゆき        | 出席 |
|        |                | 介護支援課長      |       | 町民課長       |       | 老人保健施設事務長     |                  | 訪問看護ステーション所長 |    |
|        |                | 高橋 勇樹       | 出席    | 皆川 学       | 出席    | 渡辺 久利         | 出席               | 堀 留美         | 欠席 |
|        |                | 地域包括支援センター長 |       | 居宅介護支援事業所長 |       | 町民課主幹         |                  | 保健課主幹        |    |
|        |                | 九里 富恵       | 欠席    | 大道 詳子      | 欠席    | 西田 和弘         | 出席               | 齊藤 晴美        | 出席 |
|        |                | 保健課主幹       |       | 母子健康センター師長 |       | 福祉課主査         |                  | 福祉課主査        |    |
|        |                | 畠澤 みどり      | 欠席    | 根本 博美      | 欠席    | 澤田 憲一         | 欠席               | 大森 晴海        | 欠席 |
|        |                | 介護支援課主査     |       | 介護支援課主査    |       | 地域包括支援センター主査  |                  | 町民課主査        |    |
|        |                | 岩口 真紀子      | 欠席    | 松本 静香      | 欠席    | 井川 仁          | 欠席               | 奈良 司         | 欠席 |
|        |                | 町民課主査       |       | 町民課主査      |       | 保健課主査         |                  | 保健課主査        |    |
|        |                | 竹本 誠        | 欠席    | 木幡 友哉      | 欠席    | 阿部 妃江子        | 欠席               | 能登 麻奈美       | 欠席 |
|        |                | 保健課主査       |       | 母子健康センター主査 |       | 老人保健施設主査      |                  | 税務課長         |    |
|        |                | 佐伯 祐司       | 欠席    | 成瀬 広子      | 欠席    | 中田 幸規         | 欠席               | 竹中 利哉        | 出席 |
|        | 別海<br>病院       | 病院事務長       |       | 病院事務課長     |       | 病院事務課長        |                  | 病院事務課主幹      |    |
| 三戸 俊人  |                | 出席          | 小川 信明 | 出席         | 石戸谷友絵 | 出席            | 大森 圭介            | 出席           |    |
| 委員外の出席 | 議長             | 西原 浩        |       |            |       | 合計            | 1名               |              |    |
| 事務局職員  | 事務局長           | 干場 富夫       | 主任    | 小野 絵里      |       | 合計            | 2名               |              |    |
| 傍聴者数   | 一般             | 0名          | 報道関係者 | 0名         |       | 合計            | 0名               |              |    |

# 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

## 会議に付した事件及び会議結果など

| 発言者       | 会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。  |
|-----------|---|
| 委員長 9番 今西 | 9:54 開会   |
|           | 出席委員5名、委員外1名、会期1日   |
| 委員長 9番 今西 | 挨拶  |
|           | 【病院所管事務調査】  |
| 病院事務長 三戸  | 挨拶  |
| 委員長 9番 今西 | 議事1 所管事務調査について  |
|           | (1)新型コロナウイルス感染症対策について   |
| 病院事務長 三戸  | 既に周知済みだが、12月18日町立別海病院内科病棟に勤務する職員、入院患者の新型コロナ感染が判明し、12月23日に病院職員1名、入院患者4名、計5名の感染を確認したことから、道から院内クラスターとして認定された。  |
|           | 最初の感染が確認されて以降、関係職員及び内科病棟入院患者について、適宜検査を実施したところ、1月1日までに病院職員3名、入院患者9名の感染が確認され、1月17日現在、クラスター関連の患者1名がコロナ専用病棟に入院中。  |
|           | また、病院職員及び入院患者から感染者が発生したことに伴い、院内での感染拡大防止のため、内科病棟への新規入院の原則休止等、診療体制の制限を実施した。   |
|           | 今回のクラスターについては、感染者の最終発生日の1月1日以降、新たな感染者が確認されておりません。既に2週間以上が経過しているが、現状クラスター関連で1名の方が入院中のため、道からクラスターの対策期間終了の公表は、その入院患者が普通病棟に転床した後とするよう指導を受けている。  |
|           | これまでも院内感染については万全を期してきたが、昨年5月に続き、このような事態を招き、皆様に御心配と御迷惑をおかけしたことを改めてお詫びする。今後とも中標津保健所と連携をとり、さらなる感染防止対策の徹底に取り組んでいくので、御理解・御協力をお願いしたい。   |
|           | ・先月の委員会でも御説明したが、新型コロナウイルス感染症の増加に伴い、11月14日から道の病床フェーズが3に引き上げられ、別海病院のコロナ病床についても、11月8日から7床に増床している。  |
|           | 12月は延べ17名の方がコロナ病床に入院し、1月17日現在の入院患者は3名となっている。1月17日現在、1月中に別海病院で確認した感染者数は、入院の3名を含めて14名となっている。先ほどお話ししたとおり、12月には院内クラスターが発生し、関連して職員3名、入院患者9名が感染し、入院制限等で町民の皆様には大変御迷惑をおかけした。現在も感染者が引き続き発生している状況であり、別海病院においては、平日だけでなく、土日祝日の発熱外来を継続して行っている。年末年始の休みの間も継続して行った。 |
|           | 重症化する患者は全体的には少ないが、高齢者で持病のある方は入院治療が必要な場合もあり、昨年1月から別海病院の入院者も延べ50名を超えた。また、陽性にもかかわらず無症状の方も多く見受けられ、感染者の大部分は自宅療養となっている。   |
|           | 別海病院で確認した感染者については、昨年1月、発熱外来を受診された町民の方が陽性と判明して以来、1月17日までに延べ2,359名の感染を確認している。   |
|           | 別海病院においては、昨年5月に続き、1月にも院内クラスターが発生し、また、発熱外来も継続して開設しているため、医師、看護師、検査技師等の勤務状況は、変わらず厳しい状況が続いている。  |
|           | 1月に入り、別海病院で確認した感染者がきのう現在で入院含め14名ということで、やや減少傾向が見られるものの、引き続き感染者は発生しているため、今後も感染者   |

# 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

|            |  |   |
|------------|--|---|
|            | <p>への治療と感染拡大の抑制に努め、中標津保健所等と連携しながら対応続けていく。</p>  |   |
| 委員長 9番 今西  | <p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナとインフルエンザが同時流行しているという話がある。前回の調査で別海病院ではこれまでに感染者を確認していないと聞いていたが、現在の状況は。</li> <li>・昨年暮れに1名、正月休み期間に8名ほどインフルエンザ感染者を確認している。今週に入りコロナの感染者は、土・日曜日は1名程度だが、インフルエンザの感染者も毎日数名ずつ確認している。報道でも各保健所の感染人数が出ているかと思うが、別海病院においても、毎日数名ずつインフルエンザ感染の確認がされている状況である。</li> <li>・他に質疑あるか。</li> <li>・質疑なし</li> </ul> <p>(2)医師等医療従事者の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭及び資料により説明</li> <li>・12月にも説明させていただいたが、水谷内科医が昨年6月に退職されて以降、後任の医師確保に向け、札幌医科大学に医師派遣を依頼するとともに現職医師から関係の深い医師に当たっていただくなどしているが、後任医師の決定には至っていない。</li> <li>昨年6月、7月には副町長とともに北海道地域医療財団、北海道庁、全国自治体病院協議会北海道東京事務所等にも依頼を行っている。</li> <li>また、9月には、院長の出身教室である札幌医科大学消化器内科の仲瀬教授と町長が面会し、派遣依頼について協力要請したところだが、今現在、後任の決定には至っていない。</li> <li>ただ、コロナの状況により、常勤医師の負担が大きくなっているため、民間の医師派遣会社を利用した当直の対応、ワクチン接種業務にかかわる医師派遣等を行い、常勤医師の負担軽減に努めている。今後は公的機関だけでなく、民間活用などを行いながら、医師確保に努めていきたい。</li> <li>・定数職員の看護師については、現在55名、うち育児休業3名、実際勤務している看護師は52名ということで、このぐらい人数は維持し続けたい。看護師は随時募集をしており、R5年4月から3名採用予定となっている。ただし、まだ未確定だが3月末で退職を予定している職員もいる。今後も52～53名はキープしたいと考えている。</li> <li>また、放射線技師の室長が今年度で退職予定となっており、現在、随時募集をかけている。</li> <li>理学療法士はR5年4月から、1名新規採用予定となっている。</li> <li>医療関係者、医師も含め、社会全体で人員の確保が厳しくなっていることをひしひしと感じている。これまでと違い、より積極的にこちらのほうから声をかけていかないと、確保が難しくなっている。</li> </ul> |   |
| 委員 11番 瀧川  |  |   |
| 病院事務長 三戸   |  |   |
| 委員長 9番 今西  |  |   |
| 委員 一同      |  |   |
| 委員長 9番 今西  |  |   |
| 病院事務長 三戸   |  |   |
| 委員長 9番 今西  |  | 質疑  |
| 委員 11番 瀧川  |  | <p>・放射線技師が1人定年退職ということだが、もし応募がなかった場合、再任用もあり得るのか。</p> <p>・今のところ再任用の意思表示はされていない。</p> <p>①定数職員と定数外職員の区別について確認したい。</p> <p>②定数外職員の医師で1号が3名おり、60代1名、70代2名ということだが、この点について詳細を確認したい。</p> <p>①定数外職員は会計年度任用職員と理解していただければよい。例えば看護補助員は、会計年度任用職員の導入前は常勤の嘱託職員だった方が、会計年度任用職員になってからは2号という扱い。</p> <p>②1号医師については、制度開始前からこのような体制だったが、例えば、精神科の医</p> |
| 病院事務長 三戸   |  |   |
| 副委員長 5番 外山 |  |   |
| 病院事務長 三戸   |  |   |
| 病院事務長 三戸   |  |   |
| 病院事務長 三戸   |  |   |

## 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

|       |       |   |
|-------|-------|---|
|       |       | <p>師で言えば、今までも、日給制で診療日も週3回になっており、定数外職員の扱いとなっていた。また、各診療所の医師については、65歳の定年を超えて勤務されており、その年齢を超えた以降は正規職員ではなく嘱託職員という雇用形態となっていたが、制度導入により、医師についても会計年度任用職員として勤務していただいている状況である。</p>  |
| 副委員長  | 5番 外山 | <p>・医師も65歳を過ぎた場合は定数職員ではなく、会計年度任用職員の扱いになるということか。</p>   |
| 病院事務長 | 三戸    | <p>・現在は、そのような認識でよいが、職員含め、今後自治体病院の医師の定年も延長を検討されている。</p>  |
| 副委員長  | 5番 外山 | <p>・地域医療を支える各診療所はなくてはならない。今の先生がいていただけるうちはいいが、現在の医師確保の動きとして別海病院はもちろんのこと、各診療所の件も含めて動いているのか。</p>   |
| 病院事務長 | 三戸    | <p>・確かに各診療所の医師の方々、御高齢になられているが、毎年先生の意向を確認し対応しているところである。</p> <p>議員の皆さんもよく御存じのとおり、両先生とも長く勤務され地域に根づいており、地元住民の信頼というのは非常に厚い。少なくとも、両先生と協議しながら、後任の方を探っていく形になるかと思う。できるだけ先生の意思を尊重したいと考えている。</p>   |
| 委員    | 1番 宮越 | <p>・近年、CM等を見て道内の医療系の学校は増えている感覚があり、人数的には充足しているように思えるが、その卒業生は就職しないということではなく、別海のような地方には来てもらえないという感じなのか。</p>  |
| 病院事務長 | 三戸    | <p>・特に放射線技師については、複数回、直接大学に出向き、人事担当者の方ともお話をさせていただいたが、なかなか地方への志向が低いというのが理由の1つにはあると思う。地方と都市部という縛りではないとは思いますが、数年前と比べて、自分で住む場所を都会か地方か選ぶ場合もありますし、スキルアップのためにどんどん積み上げでよりレベルの高いところを選ぶなど、いずれにしても、ちょっと我々が描いている終身雇用的な感覚というのが薄れているのが一つあるのかなと思う。</p> <p>ただ、地元志向の方も必ずいらっしゃると思うので、奨学金制度をうまく周知した上で、人員をキープしたい。そのためには、中高校生の職場体験であるとか、職業についての学習時間の場などで、奨学金の説明や医療職の仕事内容の話をして、早い段階からそういう道に進むよう根づかせていくのが重要だと思っている。</p> |
| 委員    | 1番 宮越 | <p>・他の自治体と比較して、別海町の採用条件や待遇が極端に悪いわけではないと思うが、特別いいということでもないということなのか。</p>   |
| 病院事務長 | 三戸    | <p>・悪いというわけではないが、他の自治体病院で、支度金的なものを医師以外の医療従事者に対しても用意しているところもあると思う。果たして当事者がそのような金銭的な条件で勤務先を選ぶのかということもなかなか難しいところもあると思うが。</p>   |
| 委員長   | 9番 今西 | <p>①看護師については、現状の人数を維持していきたいとの話があったが、別海病院の規模として何人という定数はないのか。</p> <p>②医師確保に向けて動いているが、それはあくまでも常勤医師の確保というのが大前提となるのか。たとえ期限つきでも、まずは1年でも半年でも勤務してもらおう。まずは医師を確保するという考え方もあるかなと思うが。</p>  |
| 病院事務長 | 三戸    | <p>①定数について、明確には示されたものはない。今の業務の中での必要人数がベースとなっている。例えば、包括ケア病床の導入でリハビリ関係の職員を一定数配置しなくてはならないなど、制度的なもので左右される。また、病院として大きく体制を変える場合にも、人員が必要な部署では職員を増員するという状況になると考える。</p> <p>今回、コロナによる業務増加により、検査技師増員の話も実際ところはあったが、一過</p>   |

# 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>性的なものと考えたため、終息後の体制を考えると増員せず現状維持に留まっている。</p> <p>②医師の採用については、もちろん常勤でいい先生が来てくれるのが1番ではあるが、例えば3カ月、1年という形でも、常勤の職員でも、日給制での雇用でもいいですし、要相談という形で、短期間の募集もしている。</p> <p>逆に短期の方が人柄等を確認した上で、後ほど先生的意思確認とれば常勤採用という形もいいのかなど思っているが、なかなか思うようには進まず苦慮している。</p>  |
| 委員長 9番 今西  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから病院経営に関する計画を作成していくが、定数はあくまでも診療体制をベースに、必要な医師・看護師・技師等職員を確保していくということか。</li> <li>・例えば、診療科の増減が生じると関連するスタッフの人数の増減が出てくるが、現状の診療体制であれば、現在の人数がある程度ベースになると考えている。</li> <li>・他に質疑あるか。</li> <li>・質疑なし</li> </ul>   |
| 病院事務長 三戸   |   |
| 委員長 9番 今西  |   |
| 委員 一同      |   |
| 委員長 9番 今西  | <p>病院 10:31 終了 休憩</p>   |
|            | <p>10:39 再開</p> <p>挨拶</p> <p>【福祉部所管事務調査】</p>  |
| 福祉部長 今野    | <p>挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育事業の開始について</li> </ul> <p>資材調達等に時間を要していたことから、当初の計画から工期が延長となっていたがこのたび施設改修工事が完了し体制が整ったことから、本年2月1日からの事業開始に向け、現在準備を進めている。今後、町のホームページや2月の広報紙等で周知するとともに、登録者を募集する。</p>   |
| 委員長 9番 今西  | <p>議事1 所管事務調査について</p>   |
| 保健センター長 入倉 | <p>(1)新型コロナウイルス感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料により説明</li> <li>・接種状況について（11月6日現在）</li> </ul> <p>1回目接種 12,523人 92.5%</p> <p>2回目接種 12,487人 92.2%</p> <p>3回目接種 10,609人 78.4%</p> <p>4回目接種</p> <p>65歳以上 3,400人 77.7%</p> <p>60～64歳 649人 62.6%</p> <p>59歳以下 751人</p> <p>※59歳以下は基礎疾患を有する方・医療従事者等が対象</p> <p>オミクロン株対応ワクチン接種 7,503人 55.4% 道 40.6% 全国 38.8%</p> <p>【小児接種】 5～11歳</p> <p>1回目接種 443人 50.9% 全国 23.8%</p> <p>2回目接種 426人 48.9% 全国 22.8%</p> <p>3回目接種 215人 24.7% 全国 7.9%</p> <p>【乳幼児接種】 6カ月～4歳</p> <p>1回目接種 46人 10.5% 全国 3.0%</p> <p>2回目接種 41人 0.9% 全国 1.8%</p> <p>3回目接種 0人 0.0% 全国 0.0%</p> <p>R5年度以降の接種については、現在のところ国からの情報提供、通知等はない。</p> |
| 委員長 9番 今西  | <p>質疑</p>   |

## 令和5年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

|         |    |    |   |
|---------|----|----|---|
| 副委員長    | 5番 | 外山 | ①乳幼児の接種が始まっているが、副反応など接種後の様子はどうか。<br>②既に2回目の接種も終えている方もいるが、1～3回目の接種間隔は。   |
| 保健センター長 | 入倉 |    |   |
| 委員長     | 9番 | 今西 | ①別海病院の小児科で実施しているが、現時点で体調不良などの報告はない。<br>②2回目接種は1回目接種から18日以上、3回目接種は2回目接種から55日以上間隔を空けることになっている。<br>・他に質疑あるか。<br>・質疑なし  |
| 委員      |    | 一同 |   |
| 委員長     | 9番 | 今西 | その他   |
| 町民課長    |    | 皆川 | ①別海町国民健康保険税率改正の検討について<br>・資料により説明<br>医療保険制度改正各関連法の施行により、H30年度から国民健康保険運営は市町村単位から都道府県単位に変わり、年度ごとに道全体で必要な医療費給付費をもとに算定される事業費納付金を市町村が道へ納める仕組みとなった。<br>R2年度道の運営方針改正により、R12年度までに全道統一保険税率の施行が予定されており、それに伴い各種軽減措置が段階的に縮小・廃止される。また、国保税の資産割はR8までに廃止（影響額：約2,800万円減収）が求められている。<br>これまでは各種軽減措置や財政調整基金を活用するなどして、保険税率は据え置いていたが、これを継続した場合、R6年度には基金が枯渇し運営が困難となる。<br>決算において赤字が生じた年度の翌々年度までに、予算ベースで赤字の解消が見込まれない市町村は、「赤字削減解消計画」を定め、原則6年以内に赤字を解消しなければならないとされており、健全な財政運営のため、今回税率改正の検討を行うこととなった。<br>国保税収納額と道への事業費納付金の差額に合わせた税率改正とした場合、被保険者に対する影響が甚大となるため、モデルケース3パターンで検討を行った結果、資産割の廃止の影響額を考慮し、現在の基金を活用しながら、R12年度の全道統一保険税率適用までにおおむね3回程度の税率改正を段階的に行う。今回は年間7,000万円増額の方で進めている。<br>2月中には、検討内容を町国保運営協議会に諮問し、答申を得た後、3月定例会に条例改正議案の上程を予定している。 |
| 委員長     | 9番 | 今西 | 閉会挨拶  |
|         |    |    | 11:07 閉会  |